

再び上昇基調に転じつつある米大手ハイテク株

シニア・ストラテジスト 石黒英之



ポイント① 上昇基調に転じつつある米ハイテク株

ハイテク株主体のNASDAQ100は7月末までの昨年
末来上昇率が44.0%と好パフォーマンスでしたが、米
長期金利の上昇によるバリュエーション調整圧力の影
響を受けて、8月、9月の月間騰落率がマイナスとな
るなど軟調に推移していました（右上図）。

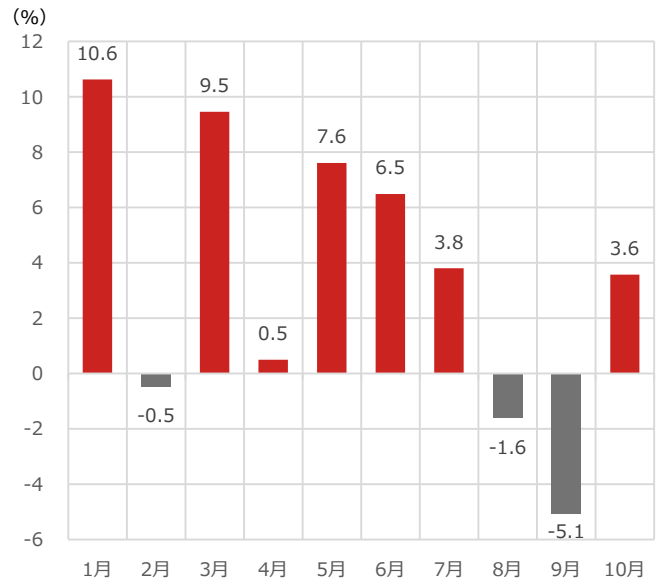
ただ10月に入り、足元の米長期金利の上昇が金融
引き締め効果につながるとの見方を示すFRB（米連
邦準備制度理事会）高官の発言が相次いでおり、
年内の追加利上げ観測が後退したことから、「米長
期金利の上昇一服→ハイテク株高」の動きが再度強
まっています（同図）。

ポイント② 米ハイテク株は年内に最高値トライへ

米国のインフレ率はFRBの目標まで依然大きな距離
があるため、FRBによる高金利政策は長期化する可
能性が高いといえます。もっとも、米大手ハイテク株は、
フリーキャッシュフローが潤沢で金利コスト上昇の影響
を受けづらいとみられるほか、米長期金利の高止まり
によるバリュエーション調整圧力も利益成長でカバーで
きるとみられ、株価見直しの動きは続くと考えられます。

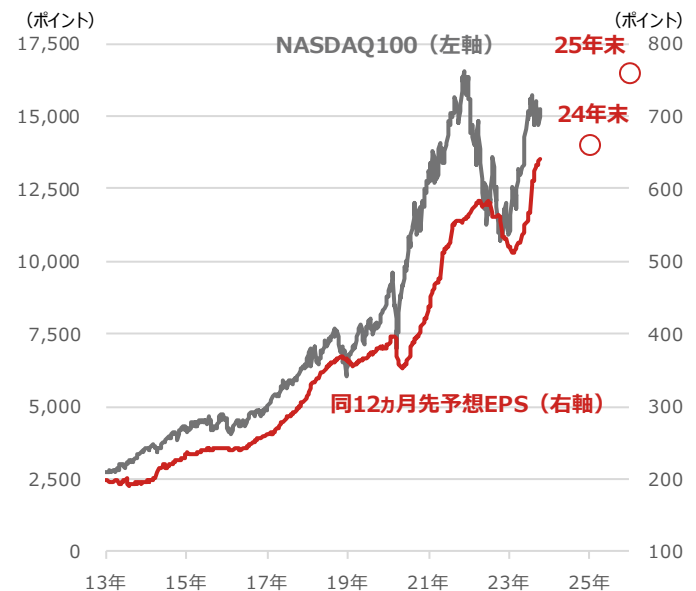
米景気が想定以上に底堅いことや、生成AI（人工
知能）といったハイテク分野の成長を後押しする技術
革新が生まれたこともあり、NASDAQ100の12カ月
先予想EPSは最高益を更新し、今後も一段の拡大
が見込まれています（右下図）。株価と利益は連
動する傾向が強いですが、NASDAQ100は最高値
更新とはなっていません。その意味では、今後半か
ら本格化する米大手ハイテク企業の7-9月期決算で、
市場の予想通り先々の業績拡大シナリオの実現に
向けた動きが確認できるかが、NASDAQ100の最高
値更新のカギを握りそうです。

2023年のNASDAQ100の月別騰落率



期間：2023年1月～2023年10月、月次
・10月は10月11日までの騰落率
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

NASDAQ100と12カ月先予想EPS（1株当たり利益）



期間：2013年1月4日～2023年10月11日、週次
・印は2024年末、2025年末のBloomberg予想（2023年10月11日時点）
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。